京城新聞

●農産物需給狀況（續）

日本内より輸入する果實の中蜜柑は最も韓人の嗜好に投し今日の狀態にては日本人より韓人に賣行く方寧ろ多數に至れり當業者の言によれば昨年中蜜柑の賣行は韓人に七分日本人に三分と云ふ位の比例にして韓人の嗜好は漸次增進の傾向あり其他の果實に至ては主に日本人の需用にして韓人には賣行極めて僅少なりと云ふ

（乙）蔬菜

韓人の需用としては自國產のものにて十分なるを以て別に輸入を仰ぐの要なしと雖ども當港は十二月下旬より三月中旬までは寒冽にして地表氷結し全く蔬菜を見ること能はず僅に温突に萠したる豆芽を以て之を補ひ馬鈴薯を最も多量に用ひ居れり而れども外國より輸入したる蔬菜は高價にして未だ韓人の口に入ること能はず主に在留外國人の需用に供せられ相應賣行あり當港に於ける韓人は自家の需用として主に醬油菜（鷄菜）を自作するに過ぎず偶々販賣の爲め栽培するものあるも其作高多からざるに反して支那人は居留邦人の需用として盛に蔬菜を排列し或は行商して居留地の需用に應ずるものは重に支那人なり日本人も亦近來蔬菜の栽培に從事するもの漸次其數を增加し一面觀賞植物を栽培して花時行商するものあり園藝の花卉に乏しき仁川に在りては其賣行相當に之あるものゝ如し

（丙）花草

韓人の花卉に於ける觀賞趣味は甚だ薄く只上流者の或る一部のみ桃李に對してのみ嗜好を有するものゝ如し韓國には桃、李、牡丹柳を詠ずるの詩歌は往々之を見ることあるも其他に至つては詩情なきが如く多く之を見ず之に反して日本人は一般に花卉を愛し花時に於ては遠く之を母國より輸入せり桃櫻、梅、李の花枝は申すに及ばず薬蘭楊柳南天を始めとし石竹躍麥杜花躑躅の類に至るまで八百物店頭に飾られつゝ燦然蕾を破れり近時韓人は日本人の花卉に對する嗜好の深きを悟り野花を採り來りて鬻き行くもの漸次多きを致せり正月の梅に於ける春の櫻に於ける節句の桃に於ける各其季節に應じ相當なる需用を有し就中神佛祭事につき朝夕草花の賣行亦相當に之あるに至れり盆栽として松楓、海棠、薔薇、竹、檜、ボケ、躑躅、踊躑草、金蓮花等の類も季節に行商する日本人あり賣行好しと云へども其數量尚多からず（未完）

●統營附近の狀況　慶尚南道鎭南郡

統營は第一の邑村にして東南面に位し後方三面皆山岳を繞らし氣候又温和にして生計上衛生に適し風景絕佳海濱は馬山、鎭海三千浦に通じ船舶の交通最も便にして漁船の如き常に碇泊し商工業共前途盛大に赴きつゝあり而して統營は鎭南郡衙の所在地にして韓人家二千五百餘人口凡そ二萬を越わんとし日本人家百七十餘戸人口八百內外にして漁夫の出入頻繁にして日本人の移住日を追ふて隆盛に向ひつゝあり又清國人十名居住して商業に從事し居れり且南門外に市場の設けありて一ヶ月二、七の都合六回の開市にして出品は海山の二種あり重なる需用品を蒐集し各地部邑に供給し野菜類は高價なるも米魚は稍や安價の模樣なり又貨幣の流通は殆んど葉錢を使用し居るも日本通の韓商人等は日貨を以て物品の賣買を爲し居れり而して水利は最も不便にして殆んど惡水の給水に堪へざる爲め日本人は協同の上一名の日本水負夫を雇ひ一擔金三錢を出して遠く一里を離るゝ山麓より供給を受けつゝあり又人情としては日韓民相融和し藹々平穩無事に各其業に從事せり官衙としては郡衙、警察分署、郵便電信取扱所、稅關支署、日本在留民會事務所等ありて將來有望の所なりと云ふ

小說　新不如歸（四十九）　篠原嶺葉著

良人の室に來た百合子は何となく、心配さうな顏付で、敏男の話しかけぬ中に、

「ね、貴方、妾聞き違へたかも知らないですが、先刻貴方は、一緒に食べるも、モウ二月ばかりだと有仰つたやうに聞きましたが、あれは何の事だつたんです、妾それが氣に懸つて御飯も何も頂く氣が爲ないのですもの……。」

と、不安らしく尋ぬるのである。

「私が話たいと云つたのも、猶且其事なんだ。」

と、少し言淀んだが、また、

「實はね、先刻百合さんが實家に行くと間もなく參謀本部から使者が來てね、大至急に御用があるから出頭せよと、云ふ書面が來たのだ、時刻が時刻だから、何か緊急な用向があるんだらうと思つて、直樣車で驅付て行つたのだ、すると、參謀總長が自ら別室に呼んで、何を云はれるかと思へば、或秘密事件を取調べるために滿州へ出張を命ずると云はれるのだ、私も餘に突然の事だから當惑したけれども特に撰拔して命令する事になつたと云はれるのを、何の理由もないに辭る理にも行かんから、可厭ながら承諾して來たのさ、實の所を云へば百合さんと云ふ可愛い人が居なかつたら、他に命令さるゝを賴ずんでも行くのだけれども、今日では頁質誰かに行つて貰いたい程に思ふのだが然う云ふ事情にも往かんから、どうぞ淋しいだらうけれど、阿母さんと兩人で留守して居て貰ひたいのだ。」

と、云ひ了つて百合子の答を待のであつた。

これを聞いた百合子は胆の潰るゝまで驚いた。それも道理……姑が既に其の刺々しく嫁虐の針を現はしつゝあるに、西鄕家のためには惡魔よりも恐ろしい足柄少佐は、其の毒牙を徐々見せかけて居るし、便さ思ふ兄は休職の非運に遭ふて異境に漂浪する身の上となつて居る、しかるに今又杖とも柱とも恃むで居る良人が、遠く滿州に赴くと云ふのだから、まだ結婚して間のない身には如何に悲しく思ふか、如何に心細く思ふか大に擲まざるを得ない境遇に沈むだのである。

驚きの極度に達した百合子は、寸時言ふべき辭もなく、怨めしさうに良人の顏を瞶めるのみであつたが、軍人の妻たる上は良人の外國に派遣さるゝも、假令出征の命令を受くるも、其は豫てより期する所で、己が身邊に纒る秘密の苦痛は、良人に訴へるべき事柄でなければ、心に泣きつゝ、然あらぬ體で、

「まあ、貴方其れは眞實の事でございますか。」

と問ひ返した。

「眞實とも、百合さんが歸つて來る少し前に歸つて來たばかりだ。」

「して、何時頃お歸りなさるんです。」

「然うさね、三ヶ月と云ふ豫定だが、一生懸命に取調べて二ヶ月位で歸りたいと思つてるのだ。」

「まあ、三ヶ月。」

と、興醒顏した。

「長いと云ふのかい。」

百合子は怨ずる如く

「長い所ぢやありません、妾十五日か長くも二十日位でお歸りなさるんだと思ひました。」

「其の位で歸れるなら私も嬉しいのだが、十五日位は往復に要るんだもの、然う早くは歸れんさ。」

▲京城辯護士案內▼

辯護士 藤井太郎　本宅 京城東大門外玄暎運別莊　事務所 京城旭町二丁目

辯護士 明法學士 前代議士 高橋章之助　事務所 京城本町五丁目 電話二二四（長距離）　本宅 銅峴三十三統五戸（明治町突當） 電話二五六

辯護士 莊子斌　京城旭町一丁目（電話七四五）

辯護士 皆川廣濟　京城南山町一丁目山手（電話八五七番）

京城旭町三丁目 永井法律事務所（電話二三八）　辯護士 永井道忠　辯護士 白井勝悟

辯護士 大久保雅彥　京城旭町二丁目（電話八三九）

辯護士 木尾虎之助　事務所 京城元博覽會表門通り苧洞六十四統二戸

辯護士 元判事 法律學士 岩田仙宗　明治町二丁目七十五番戸 佛國教會表門前　電話三五四番

見落す勿れ　韓國唯一の土產

賜東宮殿下御買上之榮　清國領事館御買上品　韓國京城博覽會褒狀受領ス
滋養強壯 人參飴
世界第一等の滋養品 牛乳鷄卵に優る効數倍
元祖發賣元 京城本町二丁目 井口順生堂藥房 電話九六九番

特約大販賣　本町三丁目 龜屋商店　本町一丁目 青木堂

特約販賣店　開城南大門外 瀧井大藥房　平壤大和町 森田大藥房　同 大同門通 新井大藥房　仁川港宮町三丁目 篠永大藥房　釜山幸町 大黑南海堂

販賣店　京城本町一丁目 山岸天祐堂　同二丁目 荒木壽生堂　同三丁目 近藤貴生堂　同四丁目 古城贊化堂　同五丁目 丸正藥房支店　同 河又大藥房　同七丁目 稻田大藥房　同八丁目 田島大藥房　龍山旭町 松下大藥房　龍山 林大藥房

勝病新藥 TRADE MARK 安眠　北條濟生堂　發行所 大阪市北區堂島中貳

特約店　本町二丁目 井口順生堂藥房　同 荒木壽生堂藥房　同 近藤貴生堂　同 古城贊化堂　平壤大同門通 新井回生堂

製造所　本町二丁目 井口順生堂藥店

警視廳御檢查濟　製造監督藥劑師 邊口彌太郎
一朝日印ポンス
此ポンス飲料水或は衛生飲料水親玉
製造本舗 京城本町二丁目（電話一九九番） 井口順生堂藥房

京城一手特約販賣所 京城本町七丁目 富田商店

貸地
一龍山元平式院前軍司令部拾五間道路左側 約五千坪
但し五十坪を一區として割貸
右將來多望の地貸附申度候條御希望の御方は左記へ御來談被下度候也
京城明治町一丁目 森村太郎
京城本町二丁目 林田金次郎

◉日本瓦製造販賣
弊店儀今般左記の所に移轉致し從前の通り營業仕り候間相變らず御愛顧の程伏而奉懇願候
京城古市町（保稅倉庫前） 濱本商店

明法學士 訴訟代理人 小川勝平
事務所 京城本町一丁目（電話四壹番） 大邱東門外

日本各銘酒 各種ビール 精米卸小賣 大販賣
本町六丁目 田中支店 電話七六四番

民刑訴訟鑑定 登記漢城府手續 諸願屆代書 土地鑛山測量 集金取立代辨 土地家屋賣買金錢貸借其他諸般ノ仲介
京城本町一丁目 民役所前 岡田事務所 取次電話六二四

提灯製造 並張替及瓦斯燈書替へ
弊店は業務確實にして仕事叮嚀なり
京城本町理事廳前裏通 藤井提灯屋

運輸の事業は正確にして殊に敏速なるを尙ぶ
永登浦 宗島運送店

西洋洗濯 並ニ和服洗張 期日正確 仕事叮嚀
京城長谷川町一丁目卅一番戸 有田組

賃貸或は賣却
京城鐘路通り一丁目 一貳層洋屋及韓式住宅
右弊所使用の處今回移轉すべきに付賃貸或は賣却可仕候間御望の方は御來談被下度候也
鐘路 精成組事務所

◉蓄音器各種 嶄新音譜各種 新荷着
東京三光堂 蓄音器韓國總代理店
京城本町 辻屋 本店電二四八 支店電三六六

流行の魁　新柄ゑり地帶あげ其他種々　取揃へ店頭へ陳列致置候間御散歩御來觀被下度候　京城明治町一丁目　ゑり德商店

伊藤統監の前途

京城新聞

內閣の更迭は統監の位置に影響する所なきか、桂內閣の成立と共に伊藤公は樞密院議長となり、曾禰子後を襲ふて統監たらんと世評紛々たり、余輩は統監の職は超然として內閣の變動に些少の影響を受けざるべしと信ず、內閣の更迭毎に統監を變更するが如きは帝國の海外政策上取るべきことに非ざるなり、然るに或る論者は曰く伊藤公の懷柔政策は西園寺內閣の方針なり、伊藤公は西園寺內閣の方針に準據して之が施設をなせるなり、故に桂內閣にして韓國統治の方針を一變すれば勢ひ伊藤公は現職に留ること能はざるべしと、然り論者の言ふが如く統監にして內閣の方針に準據せざる可らずとせば、桂內閣が新方針を樹つるに於ては伊藤公の立場として現職に留る能はざるべし、然れども余輩は之を信ずる能はず何となれば伊藤公の韓國に統監たるや內閣の指揮を受けずして獨自の考案を以て百事施設の大任を負へりと聞く、如何なる人を以て新內閣を組織するも伊藤統監に煩累あるべしとは思はれず、故に余輩は內閣更迭の爲に伊藤統監が辭任するが如きことは決して無かるべしと信ずるなり。

伊藤公自身の立脚地よりするも此際辭任せざるは大政治家としての面目にも關するなり、三年に亘りて專心施設せられたる事項は全然功績なきに非ざるも、其功績の擧ると言ふべきものなし、概して之を評すれば今日迄の事業は失敗なりとなすも必しも過言にあらざるべき乎、公の統監政治に若し功績の顯はるゝものありとすれば其は今後の事なりとす、功績は斯らざる可らず、公は保護政治の種子を播けり、其培養の任なるが爲に容易に發芽せざるの觀なき乎、其收穫期の何時來るべきやは茫として豫想し難き觀あり、公既に播種せり其責任として之が培養を怠らず其實を收穫せざる可らず、播種のみ手を下して培養を他人に托して閑臥するが如きことある可らず、宜しく帝國海外政策の美なる効果を收むべき迄、聞く近く後事を副統監に托して歸東せらるべしと、公の身邊歸東の餘義なき事情もあるべし、然れども未だ効果の擧らざる多事の日に任地を長く空にするは得策の謂ふ可きにあらず、亦職責に對しても忽慢の譏を免るゝ能はざるに非ずや。

伊藤公が統監として成効せざる所以のものは、一に其人格資格の余りに大なるが爲に非ざる乎、公は帝國第一流の政治家なり其職に立たずして大立物として奧深く安坐するこそ光輝燦然たらむ、統監には材幹力量あれば二流三流の人物にて可なり、公の如き人格の尊貴なる人を要せんや、英國のクローマー卿は總領事なりしに非ずや、されど今は既に發し、一度陣頭に立つ飽迄有終の美を擧げしめざる可らず、之れ公の盛名を保つ所以にして將た帝國の威信を保つ所以也。

東京電報

▲大藏大臣と曾禰子

桂侯は內閣組織に就て曾禰子の大藏大臣に就任せんことを希望し居れるも曾禰子は副統監を去るを好まざるの狀あり結局は桂侯自身大藏大臣を兼ねるの外なしと親近の者に語れり

▲戶山學校修業式

陸軍戶山學校にては本日午前修業式を擧行す　天皇陛下行幸あらせられ優等生七名に對し銀時計を恩賜あらせられたり修業學生は將校學生百七十六名下士學生二百七名なり

▲露國の無線電信

露國陸軍省は彼得堡より浦鹽斯德の間に無線電信を設置するの計畫中なり（以上九日發）

▲陸相後任者

寺內陸相留任する事を辭退せば石本次官昇進して後任者たるべし

▲鴨綠江森林細則

日清兩國委員間に交涉中なる鴨綠江森林に關する條約の細則は四五日中に終了すべしとの報あり（以上八日發）

釜山電報

▲千早の入港

軍艦千早今午后六時三十分入港せり（八日發）

雜報

●李完用氏渡日說

內閣總理大臣李完用氏は今回伊藤統監の歸朝に際し皇太子少師として同伴渡日すべしとの說あり

●官等俸給令改正

昨日の官報を以て改正官等俸給令發布されたるが其の改正の重要なる點は從來官等の昇進は勤續二ヶ年以上たるを要せし制限を廢し奏判任官三等以下の者は在職一箇年を踰へずとも俸給及び手當等を昇す事を得る事とし免官の場合に當月分の俸給は日割計算なりしを全月分支給するに改め疾病によりて執務せざる事六十日を踰ゆれば俸給半額を與へしを九十日に延長せられたる等なり

●度量衡改定の一頓挫

韓國の度量衡が地方に依りて習慣を異にし極めて不統一にしてために商取引上に及ぼす不便不利益の甚大なるのみならず行政上にも此れが取締不行屆にして諸種の弊害多く產業の發達を阻礙する事夥しきを以て農商工部は此れを統一するため新たに度量衡法を制定し日本の制度と等しくして日韓人間取引の便益を得せしむるの方針にて調查研究を終へ近々實行せらるゝの運びをなし居れる由は曩に報導し置きたる所なるが今更に聞く所によれば右の改定は却て地方韓民の惡感を惹起するの原因となるべきを以て此の場合は從來の習慣に從はしめ急激の變化をなす事を避くべしとの說ありて此必要にして急速を要する改定も一頓挫を來し居れりと云ふ

●東洋火災保證金拂戾

發表時期の不可なりしため遂に成立を見る能はざりし東洋火災保險會社は創立委員會の決議に基き株式申込保證金を夫々へ向つて拂戾したりとの事なり

●浦鹽自由港廢止と清津

露國議會委員會は浦鹽斯德の自由港制度を撤廢すべしと議決したる事は曩に伯林電報の報じたる所にして露國政府が果して此の決議を實行するや否やは明かならざるも假りに此れを實行するとせば目下渾春間島及び西比利亞北滿州等の地方に浦港より陸路輸送されつゝある貨物は將來同港に輸入せられずして改めて清津港に輸入せられ陸路若くは豆滿江より前記の地方に輸送せらるゝ事となるべくされば速に敦賀清津間の航路を開始して日本貨物の輸入を企て又豆滿江には運河を開鑿し同江を利用して露清韓の貨物を清津より日本に輸出する事を圖り日本海に由りて大陸との貿易を勃興せしむるは此の際等閑に付すべからざる政策なるべし曩に日露戰爭前浦港に於て俄かに苛重なる關稅を賦課したる爲め元山に金巾輸入の突然增加したることあり此れに依て觀るも向後清津港の重要なる貿易港たるべき適當の位置に在るを知るべし當局者は宜しく此の際清津敦賀の航路開始を圖り進で清津を自由港となすの政策を執らざる可らずと某政治家は語りたり

●玄暎運の罪狀

京城憲兵隊に於て賊魁許蔿の取調の結果其關係者として過日警視廳の手に逮捕せられたりと噂せられたる玄暎運は數度の取調に對し悔恨措く能はざる狀況にして哭泣しつゝ大要犯罪を自認せるものは李容復の昨年陰十二月二十日頃警視廳に拘引せらるゝや其子李容稷親戚李容善は交々玄暎運を訪ひ李容復の出獄運動を依賴せしに玄は之を承認し金錢運動は無罪の李容復をして却て有罪の嫌疑を深からしむるの虞ある旨を忠告し其後李容稷來訪の際四十圓を運動の車代及當局者への贈物代に消費したる旨を詐り告げ暗に其辨償を諷して之を詐取し李容稷李容善等が李容復は法部大臣か何か爲にする處ありて捕へしめたる事を確聞せりと告ぐるや玄は然らば其方面に運動を試んと答へ運動費一千圓の調達を必要とする旨を以て出金を促し六百圓四百圓の二回に第十八銀行の手形を以て同月廿八九兩日に一千圓を受取りたり當時玄は重顯哲に向て金を給し官人倶樂部に於て朝鮮演劇を興行せしめ損耗を來して此藝人の給金を支拂ふべき必要に際したるに金策の方法なきに窮し李重稷より收受したる金員を以て融通したり元來本件に關しては何等の運動せしにあらざる故陰十二月晦日には出獄すべしと欺きたる期日到來するも依然出獄せざるに付李容稷等より嚴談を受け手形を認て之を交付して後本年三月頃二百圓は現金にて返還したるも其他は李容稷より朴承稷に權利を讓渡したる爲め朴承稷に對する負債として手形を更改し其義務は今尙は現に殘存せりと云ふに在り

●韓人の植林事業

慶尙北道清道郡守梁弘默氏は管內森林の荒廢甚しきを憂へ各面長を招きて屢々說示する所あり尙各洞人民に訓諭して個人若くは團體をして植樹せしめ今春植付たる本數は十九ヶ面にして松樹五萬九千五十本を植樹し海松播種半斗落桑木二萬六千四百四十本栗木一萬千二十本白楊二千六百五十本柳二萬三千九百三十本椿木二萬本合計十四萬三千百九十本を植付たる旨同道書記官より農商工部に報告ありたりと云ふ

●各銀行の半期決算

在當地の日韓各銀行は六月末日に於ける上半期決算に於て大抵壹割の配當をなし若干の積立金をもなすの成績を收めたりと云ふ

●京仁麥酒界の現況

韓國に於ける麥酒會の前途は益々有望にして需要の如きも每年尠からざる增加を呈せる事本紙の前報せる如くなるが殊に京仁を中心とせる地方の消費額は逐年驚くべき增加をなし昨年の販賣額は一昨年に比し約二割本年の豫想亦昨年より二割多し就中最も多く需要さるゝ地方は京城水原龍山仁川等なるが水原龍山は勿論其他京仁の附近は夫れ〳〵京仁兩地より供給されつゝあり而して本紙の屢々報導せる如く京仁地方の麥酒界は殆んど大日本麥酒會社製品の獨舞臺にてカブト、キリン等は其販賣額極めて極少なるを以て大日本麥酒會社製品の販賣額は略全消費額と等し左に本年三月以降客月末迄の京仁地方販賣額を擧ぐ

	京城	仁川	合計
三月	一、三六三箱	一、〇一四箱	二、三七七
四月	一、一二一	一、一三二	二、二五三
五月	一、七一二	一、一三七	二、八四九
六月	二、〇五四	一、二六四	三、〇一八

右表に依れば三月以降月を經るに連れて需要の增加せるは即ち本品の需要季に入りたる譯にて尙ほ七八九の三ヶ月は相當の需要ある筈なり

前記の如く昨今京仁地方の麥酒界は殆んど大日本麥酒の獨占の姿にしてキリン、カブトの兩品の勢力は極めて微々たるものなるが就中サッポロ最も多く賣れ全販賣額の八割旭一割ヱビース五分其他五分の割合なるがカブトは工場の增設と共に販路の擴張を計るの必要ありて昨今景品付發賣を爲せるが麥酒會社側にても愈々三社合併三週年を祝して大々的飛躍を試むる筈にて既に景品付發賣を發表せるが今後の斯界は最も刮目するの價値ありと云ふべし

●御用船廢止と二滊船

宇品安東縣間定期航路船なる大阪商船の安平丸及日本商船の江陽丸の二隻が來月より三分の一御用船の契約を解かるゝとの事は既報せし所なるが右兩船の解約後に於ける方針を聞くに大坂商船の安平丸は大坂安東縣間の航路船油頭丸が近く入渠する豫定になり居るを以て安平丸は其の代船として使用さるべく又日本商船の江陽丸は去る三月御用船入札の際落札したるを以て本年四月より大坂安東縣間の新航路を開きたるものなるが今回御用船の契約を解かるゝとせば昨今輸出入貨物の減少せる場合なれば或は來月よりは廢航となるやも計られずと云ふ

●仁川大道路について

仁川本町より小學校に通ずる大道路開鑿の件は過日其補助金下附の件につき富田民長來京永濱關稅局長に請願する所ありたるも尙再考の上許否を決すべしとの回答を得歸仁したり尙目下道路土地敷地所有者たる佛國教會堂大僧正不在中なれば何れにても近日には纏まる見込なしと云ふ

●忠魂碑建設の計畫

昨年八月一日侍衛隊叛亂の際南大門內の戰鬪に於て戰死したる梶原大尉以下の忠魂を祭り兒童教育の爲め第二小學校內なる殉難の地をトし其忠魂碑を建設するの議ありて目下設計中なりと云ふ

●仁川倶樂部貸下條件

仁川民團が仁川倶樂部を有志に貸下げて維持しつゝあるは既報の如くなるが尙過日の民會に於て貸下條件等を協議したる結果左の如く決定したり但し細項は再び民會に於て更正する筈なりと

一、貸下期間を六月一日より向五十ヶ年間とす
一、貸下料は一ヶ月六十圓
一、第一銀行よりの負債一萬圓を辨濟の上は更めて貸下料を改正す
一、倶樂部建物の修繕等は民團の指命により借受人に於て修繕する事

●柔院鎭狀況

當地方は山嶽を以て充され各部落は四戶或は五戶と散在しありて自然交通に不便なる結果總ての點に付孤立する趣きありて古來の風習慣例を固持して頑固に偏するも概して人情良好質朴にして蓄財を重んずるの風あるを以て生活狀況稍々良好なり然るに一時賊徒の侵害を蒙りたるより彼等に大なる不安の念を喚起せしめたるも之が爲め排日思想を唱導して秩序紊亂の企圖計畫等の出るものなく附近一般に近來著しく平穩に歸し各々其業務に精勵しつゝありて曩に地方一般に避難せし一進會員其他の人民にして歸家業務に從事し居るもの多し

●京畿管內の市場

韓國の商取引は各地方共定期に開かるゝ市場に於て行はるゝ事は人の知る所なるが今最近の調查に依る京畿道管內に於ける市場は一市に行はるゝ取引額の五千圓以上のもの四箇所五百圓以上のもの二十四箇所五百圓以下のもの四十八箇所にて合計七十六箇所あり而して市場物品賣買の概算は一ヶ月金三十萬二千餘圓にして牛の賣買約十萬一千圓合計金四十萬三千餘圓なりと云ふ

●仁川會議所特別議員

仁川商業會議所は今回特別議員として石黑行平、西鳳重造、近藤勝之助、土肥福三郎の四氏を選擧したるが昨日愈各氏より承諾の通知を受けたる由

●警視任命

岐阜縣海津郡長今村兎毛宮崎縣警視陳軍吉の兩氏は今回共に在官の儘韓國警視に任せられ奏任官三等に叙せられたるが今村氏は鏡城警察署長に陳氏は咸興警察署長を命せらるべしと云ふ

●警部の兼務

新義州警察分署長是澤眞一部氏は義州警察署詰兼務を命せらる

公人私人

△土屋彥次郎（平壤農銀支配人）一昨日來京山本旅館
△山本廣（平壤區裁判所判事）佐伯旅館
△篠田治策（統監府間島派出所事務官）一昨日歸任
△中屋英馬（陸軍一等主計）仁川に向へり
△加藤泰秋（子爵）一昨日歸東

●櫻井丸出航

仁川稅關の沿岸取締船櫻井丸は燈臺建設材料を積載してタリフホード島に寄港し鎭南浦方面に向ふべく本日仁川を出帆する筈なるが其の航程は約十日間なりと聞く

●京城日報の論調に付

南山生

△京城日報が大韓日報より第一の論駁を受けたる暴徒觀は日報子の私觀に以あらずして伊藤公が韓元老招宴の節何かの序に述べられたる談片の受賣なるものゝ如し暴徒が國士か草賊かは見る人々に因つて異なるべしと雖もさりとて御用紙の筆にて伊藤公の談片を基礎となせる而かも同公の迷惑ともなるべきとイキの引倒的なる吹聽を聞くに至つては可笑しさも又甚だしと云ふべし若し我輩を御用紙たらしめばドコマデも暴徒は草賊であつて排日思想などを有する政治的意味を有する集團に非ざることを主張し序に最早鎭滅に近きことをも公言すべし

△御用紙曰く強て韓民に不安の念慮を起さしむるの要あらんやと我輩は決して彼等に不安の念を起さしむるために申したるにあらず只我輩の理想を披陳したる迄に外ならず

△埃及に希臘人や伊太利人の多きは隨分古いことでコレは地中海の對岸のせいで移住が便利から來りたるものなり尤も埃及に於ける英國人の數が割合に尠なきは事實なるもさりとてソレを以て日本民族膨脹論を冷評するの材料とはならざるべし京城にも殖民史や政治年鑑を迎る位の物識は隨分數多くあると知るべし

△御用紙主筆更迭以來の名論は社會的施設と題したる一文なり是れは堪當にて我輩も同論には深く賛成するの一人なり成功者を題せる記事は如何にも新參子として恐悶警戒肩身狹く想はしめたる反響の如くに讀まれたり

△品性論を講ずる中なり若し京城に於ける新聞記者中御用紙より品性論を聞かねばならぬ位の人あらば其人は果何人にあるか新參氏も中々に奇論を放つにするものと云ふべし

●近事片々

▲統監　歸東の期も漸く迫り任地に滯在せらるゝ貳個月其間に施設されし情何者ぞ
▲今回　の歸東には完用氏を伴ふと聞きしに亦も宋秉畯氏 [illegible]
▲兩人　共に伴 [illegible] に事勿れで斯く [illegible]
▲今度　歸東すれば [illegible] れば歸任せら [illegible]
▲再び　歸任せ [illegible] り茲に於て曾禰子 [illegible]
▲桂內　閣に曾 [illegible] 斯く思はるゝ [illegible]
▲祖國　內閣の [illegible] 因す統監政治 [illegible]
▲帝國　百事の [illegible] は糊塗曖昧の [illegible]
▲韓國　に對す [illegible] を新にするの [illegible]
▲宮中　の整理 [illegible] も閣議に列す [illegible]
▲宮相　をし [illegible] ば可なるも韓 [illegible]
▲桂侯　井上侯 [illegible] りて歸らず [illegible]
▲衝突　の原因 [illegible] の役割位に過 [illegible]
▲都築　井勝 [illegible] も些と考物な [illegible]
▲藏相　は田 [illegible] 田尻ならば此 [illegible]
▲桂侯 [illegible] 延に對する件 [illegible]
▲閣臣　候補 [illegible] に新人物はな [illegible]
▲新人　物と [illegible] 過ぎず更に民 [illegible]
▲齋藤　海相 [illegible] 人なるべきか [illegible]
▲政友　會と [illegible] き結局亦御用 [illegible]
▲大同　進步 [illegible] 院の操縱は安 [illegible]
▲學堂　の政 [illegible] 石の橫斷說却 [illegible]
▲外務　の [illegible] 大使の後任は [illegible]

社告

今回京城新聞を創刊仕候趣意に付ては偏に讀者諸君の御諒察を仰ぎ候微力素より當らずと雖も諸君の御同情に答ふるの覺悟に御座候間何卒京城新報同樣御愛顧の程伏て願上候

追而舊京城新報社に關する債權債務其他殘務の一切は當方にて取扱申候に付左樣御承知相願申候

明治四十一年六月七日

京城西署西小門通

京城新聞社

●薫風南山の夢（續き）

△可憐少婦不知愁▽

例の性癖彌募りに募りたる大頭顱は去る頃巴城館の貴賓室にて天然の麗質捨て難き趣あるれ蝶を見出したるに山川風物轉た寂寞の感に堪えやらぬ折柄とて早速肉色壁の奥に呼び入れて肉疑協約さやらを結びたるが憐むべし少婦愁を知らずれ蝶は殿樣の寵愛厚きが唯最う嬉しく氏無うして乘りたる玉の輿宛ら天にも上る心地しつ其後は半白の虎髪紅顔を撫し時漏の移ること遲々たるも知らざりしこと抑も幾夜さかありけん爲めに六宮ならぬ宮邸の粉黛顔色無きに至りぬ斯くて政務に繁忙なる大頭顱の肩の凝りはれ蝶の一顰一笑に依りて癒せられたり去ればにや昨年大頭顱が寒を湘南に避けられたる時もれ蝶また密かに其の地に呼び迎へられ數多き故國の美形の中に立ち交りて此れが虎伏すなる韓の野に咲く大和撫子最と見榮ある一株よと少なからぬ誇を見せたること それ蝶の得意蓋し想う可きなり然るに大頭顱其後大森なる恩賜館に暫し移り賜ふことゝなりたればれ蝶も亦伴はれて花の都に入りたるがこれぞれ蝶には生れて初めての事にてあれば何れも華美のとりなしに韓國下りからポット出には遉がにまごつくことどもありたれど何を云ふも世に名だたる大頭顱を控へ居りての事、已れ都の三平二滿どもと其處は嫉みの強き女性の常とて此の時よりしてれ蝶の虚榮心は一層募れりとか去るにても大頭顱の寵愛は衰へず軈て再び歸任の折も先づ何よりもれ蝶は忘れ賜はず斯うれちやさばかり優しう手を牽かれて馬關までは伴はれたるが茲にれ蝶が一生の願いと云ふは斯ばかりの錦如何でか此儘韓國に持ち運ぶべき一たび故郷に飾らではと是れも女性の通有心なる我儘から有ろう事か大頭顱を馬關からわざ〱れ蝶が生れ故郷の長州萩まで花婿樣を伴びたる格にて引張り行かんとしたれど其處は遉がに多年樽爼折衝の功を積んだる大頭顱のことゝれ蝶の氣嫌損じぬ程度に否や〱と頭を振りたれば今は詮方なく光る大頭顱に分れて唯一人盞欐繼うたせしに飾る唐錦を故郷に飾りけり（まだある）

●街路で飛んだ活劇

△裸体同樣△韓婦人の引張凧

八日午後三時三十分頃赤門前巡査派出所に一人の韓人駈け込み來り只今若草町に於て日本人泥棒を捕へたる故出張して下さいと訴へ出でたるより詰合の青武巡査は直ちに同道して若草町に出張したるに既に泥棒は四五名の韓人の爲めに本町方面に連れ行れたりとの事にて其儀跡を追蒐け本町五丁目釘本商店前に至りたるに附近の彌次連寄り集りて通行も出來兼ぬる程なるにぞ群衆を押分けて近づくと泥棒と云ふは二十五六歳の婦人にて丸髷に結いたる髮は亂れ身体には破れたる襦袢一枚と赤ヂルの湯卷きを着用するのみ而かも股も胴も露はれ裸体同樣の醜体なるにぞ取敢ねず永樂町派出所に連れ行き取調べると此の婦人髮は丸髷に結ひ日本語も多少操れど本年二月頃迄駱洞の鰥市屋にて淫賣をなし居りたる韓人にて金生（[illegible]）と云ひ駱洞居住金德鉉なるものゝ妾なること判明したるが其の頭此の金生の許に通い來る日本人あり滋賀縣生れ音羽惠頸（三十）と云ひ元と本願寺僧侶たりし者なるが音羽は金生が生半可の日本語にて身の薄倖を嘆ちたるより少なからぬ同情を寄せ如何にかして救い出さんと思ひたれども意の如くならず其の中金生より逃げ出して行く故其の時は助けて下さいと相談を持ち掛けられたるより音羽はグッと色男氣取りになり否應なしに承諾したるに金生果して德鉉を欺きて逃げ出し其後音羽は若草町に囲ひ置きて夫婦氣取りに暮らし居りたるを一方德鉉は血眼になつて搜せど見當らず當惑し居りたる矢先き一昨日若草町にて不圖見當りたる故金生を連れ歸らんとすれど聞かず己むを得ず三四人知邊に賴みて腕力づくめ連れ行かんとしたるものにて其の際金生は行くまじとする德鉉は連れ行かんとするために衣物も滅茶〱に破損し前記の如く裸体同樣となりたること判明したるを以て金生は德鉉に引渡され音羽は散々目玉を頂きて事濟みとなりたりと因に泥棒と訴へ出でたるは附近の韓人が早合點したる誤りなりし由近來出色の活劇なりしさ

●六月の氣候

去月中仁川に於て觀測所の實測したる結果と昨年及平年六月に於ける氣候とを對照すれば左の如し

事項	四十一年	四十年	平年
平均氣溫（華氏）	六六、四	六六、二	六八、三
平均最高氣溫（同）	七四、一	七四、二	七五、七
平均最低氣溫（同）	六〇、一	六〇、一	六二、三
高極氣溫（上同）	八三、一	八〇、二	九一、九
同上起日	廿九日	廿七日	廿七年三十日
低極氣溫（華氏）	五四、三	五四、五	四六、二
同上起日	一日	六日	卅五年十二日
晴天日數	一八	二三	二三
曇天日數	一二	七	七
雨天日數	一二	六	八
雨量（粍）	八八	二七	一一三

即ち本年六月の氣溫は昨年に比し最高の極に於て約三度高かりしも其他は殆んど大差なく平年に比すれば何れも一度乃至二度低かりし而して天氣は昨年及平年に比し一般に不良にして晴天は何れもより五日少く又雨天は昨年の二倍にして雨量も三倍以上に達し平年に比すれば日數に於ては五割多く雨量は約三割の減少を見たり

●浮流水雷爆發

六月二十二日咸鏡南道利原附近の海岸にて韓人李具在なるもの浮流水雷一個を發見し翌二十三日韓原守備隊にて之を爆發せり此水雷は大鼓形をなし直經八十珊知米突長廿一米突にして發見當時は半は海中に在りしと云ふ

●牛疫の發生

釜山を經て下の關に輸出せられたる韓國牛は同地に於て牛疫發生したり由來韓牛には牛疫なる一種の猛烈なる傳染病を有するを以て充分なる警戒を要すべしとなり

●天然痘

明治町三丁目山口ヒサは一昨日天然痘に罹り青坡病院に送らる

●私の良人

私の夫は魚屋です併し一軒の店を開いて居るでもなく毎朝南大門の水產市場から僅かづゝ魚を買ひ出して得意廻りを爲して居るのです一日の儲け高はと申しますと一日に一圓乃至一圓二十錢月に見積つて三十圓から三十五圓ナカ〱世帶が苦しいのですサテ口惜しいとは申せ現在自分の連れ添つて居る夫のことですから名前丈は申し兼ねますがマー私しの夫程薄情な男が亦と世にありませうか私しはシミ〲胸が一杯になりイツソ死んで了つた方が增しと思ふ位です全体私しの夫は小さい時分からの嫁許で實家は今でも相當な財產があるのですが少し家の事情に依つて何處かへ身を忍ばせなければならぬ破目となり實は夫婦手に手を取つて此の韓國へ流れて來たのですソンに近頃の夫の品行さいふものは殆んどれ咄が出來ず朝から仕事を休んでは酒ばかり飲み夜になると料理屋遊びなのです私はもうホト〲して此の世に生きて居る心もいたしませんが此れも何にかの因緣と諦めて居りますソレでも此の先きとも夫の行が矯りませんときにはあなたの新聞に願つて是非說諭して頂きたいものですとの氣の毒な投書ありたるまゝを

龍山榮町（電話二九番）
田淵藥局
藥劑師 田淵芳太郎

●阿片自殺

韓人李援夏なる者の妾宋召史は援夏の妾となりてより十數年間連れ添ひしに如何なる理由ありてか李援夏は宋召史を追出したるにぞ斯く十年も連れ添ふた夫に捨てられては何日まで生き長らへたとて何樂しみのあるべき世に生耻を晒らさんよりイッソ死んだが增しと已が衣裳の紐に李援夏と書き付け八日阿片を飲み漢城高等女學校運動場に於て自殺したりと

●醉拂に毆らる

南部紅箭門前氷水商中相範（二十）は八日午後三時頃中部校洞金景五と云ふ醉拂いの爲めに自宅に於て衣冠を破損せしめられたる爲め其筋へ訴へ出でたり

●迷兒

一昨日午後六時頃會洞巡査派出所前を四歲位の男兒が迷ひ居りしを長岡巡査が發見し保護を加へ置きたるに此の兒は南山町四丁目陸軍經理部官舍第二號陸軍技手今西總藏太の長男立寬なること判明し引渡されたり

アサヒビール

●不埒な雇人放免

飲食店主人にして此の程雇女に淫賣を勸めたる廉に依り其筋に檢擧され拘留處分に處せられたる川村サチ渡邊キヨ北村ハル池田ナヲ石井キヌ渡邊鐵藏井上伊代松等は昨日放免されたるが今後同樣の事をなすに於ては嚴重に處罰し營業を停止すべき旨申渡されたりと

●大工殺しの所刑

龍山元町二丁目居住富山縣生れの土方森田文太郎（二十）は昨四十年十月中京義線薪川驛大工職瀨川新一宅に於て大工職內田猶三郎外數名と酒宴中何かの口論の末猶三郎が生意氣など云ひたるに立腹し其場に有合せたる大工用小刀を以て猶三郎に斬付け左腋下第七八肋骨の間を突き刺し其翌日死に至らしめたる廉に依り其後京城理事廳裁判所に於て審理中の處昨九日判決申渡あり重禁錮四年に處せられたり

●天氣豫報（自九日午後六時至十日午後六時）

南又は西の風雨後曇り

九日午前六時各地氣象槪況

南又東の風吹き一般に雨天なり

廣告

月刊 朝鮮
每月一回一日發行 定價廿錢 郵稅一錢 一切前金
京城本町二丁目 日韓書房

東京 生そば
京城壽町三丁目（高井病院隣）
東京庵（電話架設中）

ビール☆ビール
サッポロ 東京 ヱビス アサヒ サッポロ黒 ピース

祝合同三週年 景品附大賣出

當會社釀造麥酒の儀江湖各位御引立に因り逐年販賣高增加仕候處本年は恰も合同後三週年に相當致し候に付き聊か祝意を表し各位多年の御眷顧に相酬ひ申度已に東京に於て景品付發賣致候處京城仁川に於ても左記の方法により五千箱を限り景品付發賣致候間此の際時機を逸せず京仁間各販賣店より陸續御購求の程偏に奉冀上候

◉景品付抽籤券は（大瓶四打入 小瓶八打入）壹箱每に壹枚（小四枚續き）進呈す
◉景品付抽籤券は壹打入箱（中元暑中御贈答品に適す）壹個又は壹打御購求の方には小賣にも進呈す
◉景品抽籤券は總數五千枚とし抽籤を三回に區分す（第壹回は壹千六百六十箱第三回は壹千六百八十箱發賣に對し抽籤す）
◉第壹回景品抽籤券は總數の三分の一（壹千六百六十枚）とし來る七月十日より發賣したるものに進呈し七月廿五日を以て締切とす
但同期間內に於て壹千六百六十枚に達したる時は同日を以て第壹回締切として第二回券を御渡申候
◉第壹回抽籤は來る八月壹日午前十時とし第二第三回の抽籤期日は追て廣告す
◉抽籤場所及方法。京仁麥酒販賣組合事務所に於て會社出張員及び京仁に於ける販賣店並に各新聞記者諸氏の立會を請ひ最も確實なる方法を以てこれを執行す
◉每回抽籤の景品は左記の總目錄にある各等級の三分の一とす

五千箱に對する
景品總目錄

等級	品目	員數	第一回抽籤
壹等	公債證書額面 金貳百圓	參本	壹本
貳等	勸業債券同 金八拾圓	參本	壹本
三等	同 同 金四拾圓	六本	貳本
四等	貯蓄債券同 金貳拾圓	九本	三本
五等	京仁共通商品切手 金拾圓	拾五本	五本
六等	同 金五圓	壹百貳十本	四拾本
等外	一金貳拾錢相當物品	四千八百四十四本	千六百八本

計五千本總金額貳千九百七十八圓八十錢（壹本も空籤なし）
第壹回景品券數壹千六百六十本此金額九百九十壹圓六十錢也

◉當籤番號は京仁各新聞紙を以て廣告す
◉當籤各位は京仁麥酒販賣組合事務所又は京城假事務所龜屋方に就き景品券引換に現品御受取可被下候但し引換期限は抽籤發表後十五日間とす
◉麥酒は到る處の販賣店に在り景品券は麥酒御購求の都度販賣店より直接御受取可被下候

七月十日
大日本麥酒株式會社
仁川港本町壹丁目
京仁麥酒販賣組合事務所
電話四三六番

磨擦精白米 松印石油 特約販賣
京城南大門通
三浦茂商店
電話一四九番

生石灰製造販賣
仁川電話六十二番 八田商店
特約販賣店
京城本町電話八十五番 林田金次郎
龍山榮町電話一二九番 田淵藥店

○土耳古金口煙草GD インペリアル 茶褐色スポルト 各種
京城代理店 歐米雜貨商
京城本町六丁目
㊔ 岡野商店

親箱ノ意匠ガ頗ル高尚ニシテ贈物ニ好適ノ評アリ
新製品
黃卷
安價金三錢 拾貳本入
韓國煙草界ノ大發展ヲ見ヨ
今ヤ母國製品ヨリ優良ナル物ヲ生產シ得
發賣披露トシテ當分金貳錢五厘
廣江商會

西の宮お樂の述懷（廿五）

◎三人目のが應接人

新聞社へ參りまして御免下さいと聲を掛けますと小使が出て參りまして何に御用といひますから『ハイ記者のお方にお目に掛つて少々お話がしたいので……』『ハヽアそうですか然し未だ何方もお見ゑになつて居りません』『何時頃出勤になりますか』『左樣マツ大概正午近くでせう』『大層遲いのですチダが折角來たものですから待ちませう』といゝますとソレでは此方へと二階の應接間に案內して呉れました、其の應接間と申しますのはホンの名許りで其の汚ない事といつたら實際お話しになりません、壁にはいろ〳〵な樂書がしてあつてソレに窓の硝子はドレも〳〵斷れて居つてマルで豚小屋見たやうなものですソレはソウと一服つけて寒いのを我慢して待つて居りますと彼れ是れ三時間許りも經つて下の方で二三人の男の聲がしましたからハヽア記者達が出て來たなと思つて居りますと此度は高聲に新聞か何かを讀み出してナカ〳〵上へ登つて來る樣子がありませんソウコウする內に下が騷々しくなりトン〳〵トンと階子段を登る音がしましたからテツキリ記者に相違ない逢つたら何といつて談判を開いてやらう下手な事をいつてアベコベ逆ねじを喰はされるやうな事があつちや大變だ何んでもグツと落ち付いて話をしやう杯と思案をして居ると其の登つて來た男は應接室の入口に來るのは來ましたが只私の姿をジロ〳〵と見た許りで其處から引ッ返し前のやうに階子段に音を立てゝ下に駈け下りて仕舞ひました何だ失禮な奴だと私は少し立腹しましたが又トン〳〵トンと階子段を駈け上る音がするので今度こそはと思つて居ると其の男も前のと同じ樣に私の姿を見た許りで直ぐ引ッ返す何だか馬鹿にされてるやうな工合で私はイヤな氣になりました、スルと八の字髯を生やした……左樣三十四五の男が應接室に這入つて來ました『記者に逢ひたいといふのは貴女ですか』と妙に落ち付いて居る『ハイ實は今朝程の新聞を見まして取り敢へず伺ひましたのですが……新聞といふものはアンナ僞を書いても宜しいので厶いませうか』『僞？……貴女のおつしやる事は甚だ要領を得ん一體何の記事なのですか』『他でも厶いません尾崎さんの事なんですが私と尾崎さんと何だか東京以來妙な關係でもあるやうに書いて厶いますが私は決してソンナ間柄で尾崎さんとお知り合になつてる者ぢやムいません……お書きになるのなら宜く取り調べてから願ひたいので厶いますが……』『ハヽア那の記事でお出でになつたのですか……スルト其のお樂さんとおつしやるのが貴女なんですねフヽン』と其の男が髯を捻り上げました（續）

富士の里

◎夏物大賣出し
嶄新奇拔 歐米最新流行品
夏帽子 洋傘 空氣呼鈴
◎正札より二割引
雜貨商 京城本町六丁目 中塚支店

日之出足袋發賣元
本町四丁目
林吳服店
電話六五二番

神佛葬具請負並佛具販賣
貧困者は特志取扱申候
京城南山町三丁目
左文字屋

營業品目
▲和洋雜貨類▼
○和洋文房具卸小賣
○測量製圖器械尺度類
○最新式眞筆 謄寫版發賣元
▲諸官衙用達▼
京城本町壹丁目 ヤマサキ商店 電話百四十六番

第二回荷着
一蚊帳 久留米絣
一綿類 備后縞絣
一浴衣地 布團地
珍柄種々アリ
京城明治町一丁目（電話二六一番）
卸商 唐川商店
龍山旭通 唐川支店

檢査濟
氷卸販賣
益田氷庫
販賣所 旭町一丁目（電七四五番）
南山町 掬翠樓前

日本澤庵
味噌醬油製造
乾物荒物鑵詰
銘茶食料雜貨
京城本町五丁目
漬物問屋 大上商店（電話二五一番）

開業披露
一品拾五錢より
西洋御料理
京城本町三丁目角
西洋軒

業務擴張廣告
辯護士 莊子斌
本宅 京城旭町一丁目電話七四五番
事務所 本町一丁目南部警察署前

襖張替
表具師 竹堂
表裝一切 京城壽町二丁目

開業御披露
揚弓場
並に◎コーヒー、紅茶◎其他◎氷水、一切◎
京城旭町三丁目 花遊亭

石村大販賣
品質の優等なる江華島産を湊き運搬の至便なる京城第一也
開業爲御披露特別勉強大割引を以て可應貴意候也
京城永樂町 土木建築
赤門前 測量設計
堺事務所

會席御料理 にし喜
にしき特色 江戶自慢
江戶自慢庖丁切味
江戶生粹藝者
開店御披露
京城南山町一丁目
四方各位益々御盛榮之段奉賀候弊店此度元湖月跡に於て開業致候間御愛顧御引立の上陸續御來駕之程伏而奉願候敬白

營業目錄
一和洋雜貨 文房具 測量製圖器械 洋家具
一東京銀座 合名會社 玉屋商店 直輸入品及自製品 韓國特約販賣店
一奈良 古梅園製墨 韓國代理店
御賣は便利なる御相談に應ずべし
一東洋インキ株式會社特約販賣店
一丸善インキ及バラ齒磨粉特約販賣店
一專賣特許東京堀井 鐵毛筆謄寫版韓國一手特約
日韓貿易株式會社一手代理販賣店
一日本政府 煙草特約販賣店
一大日本麥酒株式會社專賣店
一東京 岩瀨盛春堂製筆韓國特約店
一大阪 足立製 不易糊 特約販賣店
一大阪每日新聞社 大阪朝日新聞社 京仁特約販賣店
一東京大阪數十書籍店特約販賣

仁川本町二丁目 町田文本店（電話四十五番）總支配人 中川喜七郎 主任 町田政太郎
同 本店向へ 町田書籍部 新聞雜誌（電話四百卅一番）主任 管野武
京城本町三丁目 町田文支店（電話一二六番）主任 山本幸太郎
同 二丁目 文林堂（電話百七十五番）主任 末佐野勝次郎
同 二丁目 文林堂內 用達部（電話百七十五番）新聞雜誌掛 町田文次郎 川合市松 原田直助 永井善次郎 井上貞次郎 古矢正三郎
右店員一同車輪の働きを以て勉强可仕候得不係多少御用命被下度奉懇願候 營業主 町田文次郎

書籍文房具 新聞雜誌部擴張
弊堂と京城仁川に於ける日本人書店の開祖にして開業拾有九年の老舖なり今や日刊日本新聞紙京城のみ一千有餘雜誌一千有餘の配達數を算するの盛况を告げ益々繁忙を極むるの光榮ある今日あるを得たるもの各位の特別なる御引立と弊堂の正直と勉强の實を愛せらるゝの外ならざれば永く雜貨部の兼業とする愛顧諸君に忠實なる所故に無之候得ば今回本町三丁目平田書籍新聞雜誌部とを合併し專問的に營業益勉强可仕候得ば倍舊の御愛顧を蒙り度奉願上候也
本町二丁目三井物產向へ 文林堂（電話百七十五番）

韓國京城 株式會社第一銀行
本店 東京市日本橋區兜町
電話番號 營業用 一二番 國庫用 六二番 當直用 生產用 營業用三三一番 分析所用（六一二番）
內地支店、出張所
大阪、京都、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、兵庫、伏見、大阪西區、東區新大阪町
韓國支店、出張所
仁川、釜山、元山、鎭南浦、群山、平壤、木浦、大邱、開城、咸興、城津、馬山、鏡城、淸國安東縣
右の外內外各地重要なる場所には爲替取引先あり
營業事務に關する御用向は當店營業課長に御面談被下度候

原金旅館
本店 仁川理事廳通（電話三三二番）
支店 京城南山町（電話一〇七番）

京城支店 株式會社十八銀行
京城南大門通（電話四二〇）
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓
銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
本店 長崎市築町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、群山、羅州 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐
韓國 日本
其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金
一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日步壹錢四厘）
長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告
電話十番
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 郡回漕會 電話三九番
京城南大門通 巴商店 電話三〇六番

●釜山長崎門司神戶行
山東丸 八月 二日 後一時出
●群山、木浦、釜山、門司、神戶、大阪行
第一オハヨ號 月 日 後三時出
釧路丸 月 日 後三時出
●大連、大沽、牛莊行
高砂丸 七月廿三日 後一時出
山東丸 七月廿一日 前五時出
●大連、大沽、牛莊行
酒田丸 八月 六日 後一時出
●鎭南浦行
第一オハヨ號 後三時出
●釜山出帆、元山淸津、浦鹽行
弘前丸 七月廿二日

御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止場ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ス

●新聞料 ▲一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲郵稅一ヶ月金拾錢
●廣告料 ▲五號活字十九字詰一行一回四十錢▲特別廣告五號活字十九字詰一行金五十錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太
發行所 京城西署西小門通 京城新聞社 電話六八三番